

参加を希望される方は、次の申込フォームよりお申込みください（外部リンク）
<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=qWCrInUmm0KeReGzmLa-e-1JBNZx41ZBh-AfGN4SZ21UQ010QUhXVVY5VDBYW1BPUVRZTkpIOE5aRy4u>

▼事例発表者等の詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/260130.html>

※お問合せ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課

（担当：神、福田）（03-3502-5956）

=====

◆海外から肉製品などを持ち込まないで！

【動物検疫所、消費・安全局 動物衛生課】

=====

海外から働きに来る方が来日時に肉製品（特に自国では調味料やお菓子と認識されている肉を含む加工品等）を持ち込もうとする事例が増えています。海外からの肉、肉を少しでも含む加工品の持込みは、量・用途・加熱の有無・輸送方法に関わらず法律で禁止されています。

（禁止品の例：ソーセージ、餃子、肉まん、干肉、肉でんぶ（肉松）入りのふりかけ・お菓子、真空パックされた鶏爪・鶏頸・鶏脚）

普及指導員の皆様におかれましては、我が国への家畜伝染病の侵入を防止するため、「来日時の肉製品の持込禁止」、「肉製品の外国からの取寄せ禁止」、「自国からの汚れた衣服・靴の持込禁止」について、今一度、農家の方へご指導いただきますようご協力のほどよろしく申し上げます。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pqaqinfo/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

（担当：天川）（03-3502-8295）

=====

◆担い手向けに機械導入等を支援！！地域農業構造転換支援事業の要望調査実施中！！

【経営局 経営政策課】

=====

本事業では、地域の中核となって農地を引受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械・施設の導入を支援します。詳細はこちら。

https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7_chiiki_nougyou/251223.html

▼主な事業要件

- ・補助率：3/10 以内、補助上限額：個人 1,500 万円以内、法人 3,000 万円以内
- ・対象者：地域計画に位置付けられた担い手
- ・成果目標（以下のいずれか 1 つを認定）

1. 経営面積の3割又は4ha以上の拡大
2. 付加価値額1割以上の拡大
3. 労働生産性3%以上の向上

普及指導員の皆様におかれましては、担い手の経営改善に向けた本事業の推進についてご協力のほどよろしく申し上げます。

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 経営政策課

担い手総合対策室（03-3502-6444）

=====

◆〈参加費無料〉第5回農業者年金オンラインセミナー開催のお知らせ

【独立行政法人農業者年金基金】

=====

（独）農業者年金基金では、「人生100年時代、人生設計どう考える？」をテーマに第5回農業者年金オンラインセミナーを開催します（事前登録制・参加費無料）。

本セミナーでは、人生100年時代における年金の重要性や農業者年金のメリットなどについて解説し、リアルタイムで質問も受け付けます。

普及指導員の皆様におかれましては、地域の農業者、特に若い農業者や女性農業者に向けて本セミナーの開催についてお知らせいただくとともに、ご自身にとっても農業者年金を知る良い機会ですので、ぜひご参加ください。

▼ 開催日時：令和8年3月5日（木）15：00～16：00

▼ 申込締切：令和8年3月4日（水）

▼ 申込フォームはこちら（外部リンク）

<https://forms.gle/oCtHyo3abf89aGSW6>

▼ 詳細はこちら（外部リンク：（独）農業者年金基金 Web）

<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>

※お問い合わせ先

独立行政法人農業者年金基金（企画調整室）（03-5919-0332）

=====

◆3/11 公開フォーラム開催「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

内閣府、農林水産省、生研支援センターは、「豊かな食」の実現に向けた研究プロジェクトの成果と社会実装への展望等に関する公開フォーラムを開催します。

講演では、大豆の多収栽培支援AIや、下水汚泥・家畜排せつ物等の高機能堆肥化装置、新たな肥料成分回収技術、次世代の沖合養殖システム、個々人の体調等に応じた最適な食材を提案する食解析システム等の研究開発をご紹介します。

か、パネルディスカッションも行います。

普及指導員の皆様におかれましても、最新の研究開発動向を収集できる良い機会と存じますので、ぜひご参加ください。

- ・日時：2026年3月11日(水)13:00～17:45 (12:30 受付開始)
- ・会場：鉄鋼カンファレンスルーム Room 3～6
(東京都千代田区丸の内1丁目8番2号 鉄鋼ビルディング 南館4階)
- ・形式：ハイブリッド形式(対面+Zoom ウェビナー)
- ・参加費；無料
- ・定員：会場参加 120名、オンライン配信 300名
- ・申込ページ (外部リンク)
<https://sip3rd-0311.peatix.com/>
(申込期間：3月6日(金)まで)

▼詳細はこちら
生研支援センターHP (外部リンク)

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/sip/sip3/news/2025/173883.html>

※お問い合わせ先

生物系特定産業技術研究支援センター SIP3 「豊かな食」事務局

sh-SIP3rd-jimu@naro.go.jp

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：鈴木、矢部) (03-3501-4609)

=====

◆「2025年農業技術10大ニュース」のチラシを公表しました！

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農林水産技術会議事務局では、農林水産分野における1年間の研究成果の中から、その内容および社会的関心の高さに基づき、農業技術クラブ(農業関係専門紙・誌など30社)の会員投票により「農業技術10大ニュース」を毎年選定しています。

このたび、2025年に選定された10の技術を1枚にまとめたチラシを作成しました。

普及指導員の皆様におかれましては、研究成果を幅広く知っていただける内容となっておりますので、ぜひご覧ください！

▼詳細はこちら

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/10topics.htm>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

=====

◆ゲノム編集で長持ちメロン誕生

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

メロンは収穫後に急速に熟するため、日持ちが短く、食品廃棄の要因となるほか、長距離輸送や海外輸出には不向きとされてきました。農研機構は、筑波大学およびサナテックライフサイエンス株式会社と共同で、農研機構等が開発した独自のゲノム編集技術「in planta Particle Bombardment (iPB)法」をメロンに適用し、果実の熟成に関わる遺伝子を不活化することで、日持ち性が良く、食べ頃を調整できるマスクメロンの作出に成功しました。本成果により、国内の遠隔地への流通や海上輸送による海外への低コスト輸出が可能となり、メロンの国内消費の増加や海外展開の活性化につながることを期待されます。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導にお役立ていただけますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nias/173790.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（03-3502-7407）

◆農林水産分野の技術開発に係る委託研究の公募を開始しました

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

令和7年度補正予算及び令和8年度当初予算案の委託研究の公募を、2月5日（木）から開始しました（応募期限：3月18日（水）17時）。

委託研究は、研究機関だけでなく、普及指導センターや協同組合等の普及・実用化支援組織等も参画したコンソーシアムとして応募いただきます。関係する研究機関等とご相談の上、ご検討をお願いします。

▼公募課題

1. 老朽化する農業水利施設の健全性に対する不可視な影響要因等の監視技術の開発
2. 食料安全保障強化に向けた水稻の低コスト・多収栽培技術の開発
3. 輸出拡大に向けたニーズや付加価値の高い農産物の栽培・加工技術等の開発

▼詳細はこちら

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/kobo/2026/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局

研究企画課企画班（03-3501-4609）

